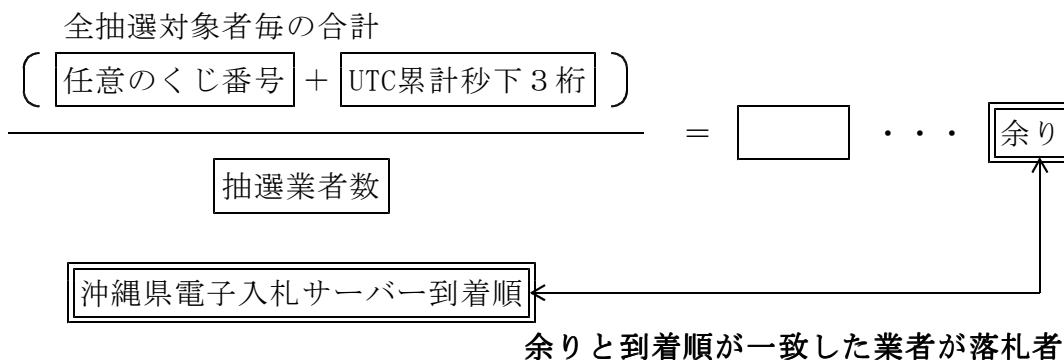


沖縄県電子入札における電子くじ落札者決定方法について

1 沖縄県電子入札システムの電子くじによる落札者決定方法は次のとおりです。



<計算例>

2者抽選の場合

	任意のくじ番号	サーバー到着時間	到着順番号
A社	<u>001</u>	H19. 1. 12 10時23分21秒 UTC基準日からの累計1,168,565,001秒	0
B社	<u>001</u>	H19. 1. 15 12時00分02秒 UTC基準日からの累計1,168,830,002秒	1

余りの算出

$$(A社(001+001) + B社(001+002)) \div 2 = 2 \cdots \text{余り} 1$$

到着順との一致

落札者はB社

余り 1 = 到着順番号 1

くじ番号に加算される数字は、世界標準時の1970年1月1日00時00分00秒を基準秒としてサーバー到着時間までの累計秒数の下3桁を抽出しています。

UTC (世界協定時) = 世界標準時 グリニッジ標準時と日本標準時の時差は9時間。

※任意のくじ番号が同一であっても落札者は1社に決まります。また、累計秒数下3桁及びくじ番号が同一になっても、余りと到着順番号での判断となりますので、落札者は1社になります。

注：抽選対象者のくじ番号+サーバー到着時間累計秒の合計が1000を超えた場合、下3桁の数字を抽出します。

例) 2者抽選

A社：くじ番号999 累計秒数下3桁：007 到着順：0

B社：くじ番号777 累計秒数下3桁：777 到着順：1

A社：999+007=1006 (下3桁006) B社：777+777=1554 (下3桁554)

$(006 + 554) \div 2 = 280 \dots \text{余り} 0$ 落札者A社：余り(0) = 到着順(0)

3者以上抽選であっても上記と同様の計算方法になります。

また、電子入札対象案件への紙入札参加者であっても、開札当日電子入札システムへくじ番号を入力し、抽選になった場合、電子入札参加者同様電子くじにより落札者を決定します。

2 電子くじ抽選方法の要約は次のとおり

- (1) 応札の際に任意のくじ番号（3桁）を入力

紙入札参加者も入札書に3桁のくじ番号の記入が必要になります。

- (2) 入札書提出順に0から番号を付与

応札期間中に沖縄県電子入札システムサーバーへ到着した順になります。

- (3) 抽選対象業者毎に基準日（秒）からサーバー到着時間（秒）の累計秒数下3桁を(1)の入札書記載3桁番号と合算（千を超えた場合は下3桁を抽出）した上で、全抽選業者合計を算出。

世界標準時1970年1月1日00時00分00秒が基準日（起算秒）です。

- (4) (3)の合算した数字を抽選対象業者数で割った余りの数字と(2)のサーバー到着順番号の一致する業者を落札者とします。